資料１

令和７年度山陽小野田市食育推進事業報告について

１　家庭における食育の推進（計画書 P41～）

関連重点事項　「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」

関連する目標指標　２・４・５・６・７・１１・１２・２０

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標 （p. 40）
p. 41　～ 43	マタニティひろば （食生活）	子育て支援課 健康増進課	母子保健法に基づき、妊娠・出産について指導及び助言を行い、母子保健に関する知識を普及するとともに、父親の育児参加と母親同士の仲間づくりを援助する。	実施回数：4 回 受講者数：59 人	1. 4. 5. 11
	葉酸サプリメント配布	子育て支援課	生まれてくる子どもの先天的な神経管閉鎖障がいの予防、妊娠期の貧血や妊娠期高血圧症候群の予防のために必要な葉酸を、妊娠を希望する女性が摂取することを推奨し、安心安全な妊娠、出産、育児及び子どもの健全な育成へとつなぐこと	妊娠前 希望者配布数：24 人 妊婦配布数：270 人	1. 4. 5. 8
	離乳食ひろば	子育て支援課 健康増進課	乳児の健康の保持増進のため、育児等について正しい知識の普及を行う。また、参加者同士の交流を図ることを目的とする。	実施回数：6 回 受講者数：47 組	1
	歯っぴーひろば	子育て支援課 健康増進課	歯磨きや口腔機能に対する不安や悩みを解消できるよう、虫歯予防や食べる機能の発達等に関する正しい知識を普及する。また育児の孤立化を防ぎ、母子及びその家族が健康的な生活を送ることができるよう支援することを目的とする。	実施回数：4 回 受講者数：28 組	1. 4. 5. 11

	もぐもぐはかせ教室	子育て支援課 健康増進課	未就園児の食課題に応じて、その保護者が、食に対する不安や課題を解決することで正しい食生活を身につけること。また、未就園児が食に関心をもつこと。	実施回数：4 回 受講者延数：82 人	1. 4. 5
	ミニしょくいくはかせ教室	子育て支援課 健康増進課	幼少期の頃から調理体験等を増やし、食の知識や料理技術の習得、食事のマナーなどを総合的に学び、食に関心をもつこと。また、その保護者がその知識や調理能力を身につける機会とし、家庭での食育を実践する。	実施回数：20 回 受講者延数：110 人 見学保護者数：115 人	1. 4. 5. 20. 21
	ねたろう食育博士養成講座	健康増進課	地域住民が生涯を通じた健康づくりを実践するために、食に関する正しい知識を学ぶことで健全な食生活を実践し、食育の大切さをＰＲできる人材を養成する。	実施回数：3 回 受講延人数：59 人	1. 2. 4. 5. 6. 7. 11. 12. 13. 14. 20. 21. 22
	健康教育	健康増進課等	生活習慣病の予防及び健康増進等、食生活や健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、「自分の健康は自分で守る」という認識と自覚を高め、健全な食生活を実践する。	かみかみ百歳体操プレゼン：2 回 参加延人数：11 人 健康増進課実施回数：23 回 参加延数：882 人	1. 2. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11

２　学校、保育園等における食育の推進（計画書 P44～）

関連重点事項　「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」

関連する目標指標　２・４・５・６・１１・１２・１８．２１

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標 （p. 40）
p. 44～47	ねたろう食育ネットワーク	健康増進課・子育て支援課・学校教育課・学校給食センター （市内幼稚園・保育園・小学校・中学校）	山陽小野田市食育推進計画の推進に当たり、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を図り総合的かつ計画的に推進する。	実施回数：3 回 参加延人数：99 人	1. 2. 3. 4. 5. 10. 11. 20. 21. 22
	親子食育料理教室	学校給食センター	児童・生徒とその保護者が学校給食における地産地消の取組、成長期の食事についての学習や郷土料理、行事食、栄養バランスのとれた食事等の調理実習を行うことにより、地産地消や伝統的な食文化、健康のための食生活について理解を高めるとともに食育の推進を図る。	実施回数：4 回 参加延人数：68 人	1. 4. 5. 12. 13. 18. 20
	食育だより等の発行	学校給食センター、 学校教育課（小学校・中学校） 子育て支援課（保育園）	旬の野菜の紹介、食物の栄養についての知識や正しい箸の使い方といった食事マナーなど、食育に関する情報を定期的に紹介し、家庭において啓発活動を行う。	幼稚園・保育園 実施園：18 園 実施回数:177 回	1. 2. 4. 5. 12. 18. 20. 21. 22
	学校給食センター見学会・試食会	学校給食センター	学校給食センターの施設見学や学校給食の目的や内容、また市の食育についての講話を通じて、学校給食の理解を高めるとともに食育の推進を図る。	実施回数：10 回	1. 4. 5. 12. 13. 18. 20

	給食試食会	子育て支援課（保育園） 学校教育課(幼稚園･小学校･中学校)	園児・児童・生徒に提供している給食を保護者や地域の方々に試食してもらうことにより、学校給食への理解を深め、家庭や地域での食に対する関心を高める。	実施園数：13 園 実施学校数：5 校 197 人	1. 4. 5. 12. 13. 18. 20
	給食展示	学校教育課(小学校･中学校)	給食時間前にサンプル給食を展示することにより、児童生徒に主食、副食等の配置を理解させるとともに、献立への関心を高める。	実施学校数：18 校 延べ実施回数：200 階	1. 4. 5. 18
	教科と関連付けての授業	学校教育課(小学校･中学校)	各教科等の内容と関連付け、体系的、計画的に指導を進めることにより、食に関する知識や技能を習得する。	実施学校数 15 校	1. 2. 4. 5. 6. 12. 13. 11. 15. 20. 21. 22
	給食時間においての指導	子育て支援課（保育園） 学校教育課(幼稚園･小学校･中学校) 学校給食センター	給食時間に、学級担任、栄養教諭、学校栄養職員、栄養士、食育支援員、調理員等が中心となって準備、会食、後片付け等の一連の指導を行うことにより、食に関する正しい知識や食事のマナー等を身につける。	実施園数：16 園 実施学校数：17 校	1. 2. 4. 5. 6. 12. 13. 11. 15. 20. 21. 22
	食物アレルギーに関する個別相談・指導	子育て支援課（保育園） 学校教育課(幼稚園･小学校･中学校) 学校給食センター	食物アレルギー等を有する園児・児童・生徒に対して安全に給食の提供等が行えるよう、体制整備を行うとともに、関係機関との連携を図る。	実施園数：17 園 実施学校数：17 校	－

３　地域における食育の推進（計画書 P48～）

関連重点事項　「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」

関連する目標指標　２・４・５・６・７・１１・１２・１３

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標 （p. 40）
p. 48～53	キッズファーム	子育て支援課	スマイルキッズ敷地内の畑で、未就学児をもつ親子が地域住民の指導のもとに耕作から収穫までの野菜作りを行うことにより、高齢者の知識や経験を若い世代に伝えるとともに、地域住民等と親子のふれあいの機会の提供、地産地消を推進する。	実施回数：１回 参加延人数：20 人	1. 5. 15
	ねたろう食育ネットワーク	健康増進課･子育て支援課・学校教育課・学校給食センター （市内幼稚園･保育園･小学校・中学校）	山陽小野田市食育推進計画の推進に当たり、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を図り総合的かつ計画的に推進する。	【再掲】 実施回数：3 回 参加延人数：99 人	1. 2. 3. 4. 5. 10. 11. 20. 21. 22
	大学と連携した食育	健康増進課 （食生活改善推進協議会含む）	大学生に対して食育を行うことにより、生涯にわたる健全な食生活の実践を支援する。	実施回数：6 回 参加延人数：321 人	1. 4. 5. 6
	高校と連携した食育事業	健康増進課	高校生に対して食育を行うことにより、生涯にわたる健全な食生活の実践を支援する。	実施回数：3 回 参加延人数：143 人	1. 4. 5. 6
	食育関連業者の健康に配慮した商品やメニューの提供	健康増進課	飲食店や食料品を販売する店舗が、健康に関する情報やメニュー等を提供することで、地域住民が健康に関心を持ち、健	実施飲食店 2 店 実施スーパー9 店	1. 4. 5. 6. 20

			康づくりの実践につなげるために、食環境整備を推進する。		
	住民運営通いの場における介護予防活動	高齢福祉課	いきいき百歳体操や、かみかみ百歳体操を実施し、自ら介護予防に取り組むよう支援することで、要介護状態になることを遅らせる、又は悪化を遅らせる。	住民運営通いの場における、かみかみ百歳体操実施回数（推計）870 回	1. 4. 5. 11. 12. 13
	介護予防応援隊養成講座 （食生活）	高齢福祉課 健康増進課	家族や隣人に介護予防の必要性や方法を広められるようになることや、介護予防の全般的な知識を身につけ、市が実施する介護予防事業等のサポートができる応援隊員を育成すること、及び、レベルアップ研修を開催することで、介護予防応援隊自身の介護予防に取り組んでもらうとともに、介護予防活動へのボランティア参加を促進する。	栄養講話回数：1 回 参加延人数：14 人	1. 4. 5. 6. 12. 13
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	高齢福祉課 保険年金課 健康増進課	住民運営通いの場等で、低栄養対策などのポプレーションアプローチを実施し、自ら介護予防に取り組むよう支援することで、要介護状態になることを遅らせる、又は悪化を遅らせる。	口腔・栄養に関する講話 実施回数：17 回 参加人数：延 164 人	1. 4. 5. 6. 9. 12. 13
	虫歯予防啓発教室等	健康増進課 （ＳＯＳかたつむりで行こう会）	噛むことの大切さなどの情報提供を行うことによって、虫歯などを予防する。	健康増進課出前講座 実施回数：2 回 参加延人数：64 人 スタイル部会 実施回数：9 回 参加延人数：137 人	1. 11

	歯科健診等	子育て支援課 保険年金課	歯科健診の推進等、歯科保健サービスを実施することによって、う蝕や歯周病等の歯科疾患を予防する。	妊婦、乳児を対象とした歯科健診の実施 国保被保険者を対象とした歯科健診の実施	1. 11
	子ども・親子料理教室	健康増進課 （ねたろう食育博士）	調理の経験を重ね、自ら食を選択し、調理することで、食の自立を支援する。	実施回数：1 回 参加延人数：17 人	1. 2. 4. 5. 6. 12. 13. 11. 14. 20. 21. 22
	生活習慣病予防教室（食生活）	健康増進課	地域住民が自らの生活習慣を振り返り、生活習慣病予防のための生活習慣を身につけ、日常生活において継続することにより、生活習慣病を予防する。	実施回数：2 回 参加延人数：32 人	1. 4. 5. 7. 11
	ねんりんカフェ	健康増進課 （食生活改善推進協議会）	地域の高齢者へ低栄養に関する情報提供を行うことにより、高齢者の意識を高め食生活を改善し、低栄養を予防する。	実施回数：9 回 参加延人数：119 人	1. 4. 5. 6. 12. 13
	減塩プロジェクト等生活習慣病予防事業	健康増進課	糖尿病、高血圧、脂質異常症などの疾病を予防するため、野菜摂取増加や減塩に関する情報発信等を行うことで心がける市民を増やす。	実施回数：5 回 参加延人数：246 人	1. 4. 5. 6
	管理栄養士養成校の学生実習受入	健康増進課	市民一人ひとりが食に関する知識をもち、自ら実践できるよう、食生活や健康づくりに関する専門的な知識をもつ管理栄養士や栄養士の養成支援を行う。	受入大学数：3 校 受入延学生数：12 人	―
	出前講座	健康増進課等	食に関する正しい知識の普及を図ることにより、食に関心をもち、健全な食生活等を実践する。	健康増進課 実施回数：23 回 参加延数：882 人	全て

４　食育推進運動の展開（計画書 P54～）

関連する目標指標　１・１４

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標 （p. 40）
p. 54 ～ 57	ボランティア（地区組織）活動支援	健康増進課	食生活を中心とした健康づくりに関する総合的な知識と技術を習得し、地域住民の健康の保持増進に寄与できるボランティアを養成・育成する。	合同研修会 実施回数 2 回 参加人数：80 人 小野田支部 実施回数：3 回 参加人数：55 人 山陽支部 実施回数：3 回 参加人数：93 人	全て
	食育イベントの開催	健康増進課 （食生活改善推進協議会）	地域住民が生涯を通じた健康づくりを実践するために、食に関す情報発信を行い、食に関心を持つ機会を提供する。	開催数 1 回 参加延数：60 人	全て
	ＳＯＳ健康フェスタの開催	健康増進課 （ＳＯＳかたつむりで行こう会）	地域住民が主体的に健康づくりに取り組み、全ての人がスマイルで過ごせるまちの実現を目指し、生涯を通じた健康づくりを実践するために、健康づくりに関心をもつ機会を提供する。	開催数：1 回 来場者数：2,000 人	1. 2. 4. 5. 6. 7. 11. 12. 13. 14
	わたしの味噌汁チャレンジ（スマイルエイジング強化月間事業）	健康増進課	「スマイルエイジング」の推進の一環として、市民の食に関する意識の向上と健康に向けた行動変容を促すため、市民一人ひとりが食に関心をもつ機会を増やす。	実施回数：１回 応募総数：121 点	1. 2. 4. 5. 7. 20

	手作り弁当コンテスト（スマイルエイジング強化月間事業）	健康増進課	「スマイルエイジング」の推進の一環として、市民の食に関する意識の向上と健康に向けた行動変容を促すため、子どもの頃から食に関心をもち、調理体験をする機会を増やす。	実施回数：1回 応募総数：735点	1. 2. 4. 5. 20
	市ホームページ	各課	市民が、食育に関する情報を得て、食育の必要性を認識し、健全な食生活を実践につなぐ。	更新回数：8回	全て
	市広報			掲載回数：11回	
	FMスマイルウェ～ブ			啓発回数：5回	
	市公式SNS			掲載回数：21回	
	食育ツールの作成、啓発	健康増進課	市内共通の食育ツールを通して、市民が、食育に関する情報を得て、食育の必要性を認識し、健全な食生活を実践する。	食育ランチョンマット 配布数：年445枚 食育レシピ集:13追加	全て

５　生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等（計画書 P58～）

関連重点事項　「持続可能な食を支える食育の推進」

関連する目標指標　１５・１８・２０

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標 （p. 40）
p. 58～62	産地見学会	農林水産課 （農業法人）	青果物の生産現場を見ることで、地元産の安心安全の認識を深めてもらい、地産地消につなぐ。	実施回数：10 回 参加延数：466 人	1. 15
	ふれあい市民農園	農林水産課	農業体験を通じて、収穫の喜びを味わうことができ、農業に関する理解を深めてもらう。	利用世帯：95 件	1. 15
	緑のカーテンの推進	環境課	ゴーヤなどのつる性の植物をネットなどに這わせ､夏の日差しを遮り室温の上昇をおさえる自然のカーテン｡同時に食べ物を大切にする心を育てる。	実施回数：1 回 参加延人数：75 人	1. 4. 5. 12. 13. 14. 15. 20
	農林水産まつり	農林水産課	農業・林業・漁業に係る地元農水産物に触れることができるイベントを通じて､地産地消を推進する。	実施回数：1 回 （通算 16 回） 参加延人数：2000 人	1
	県内産・市内産表示	農林水産課	市内の生産物を販売店で実際に目にすることで､地元産の安心安全の認識を深め､地産地消を促進する。	啓発の機会の数 （地産地消コーナー） ：2 か所	1
	学校給食の地場産物の活用	学校給食センター 学校教育課 農林水産課	学校給食の食材に地場産物を積極的に取り入れ、児童生徒に地元の旬の食材や特産物の関心と理解を高めてもらうとともに地場産の農林水産物の需要拡大に寄与する。	提供日数：200 日	1. 18
	食べきり協力店の	環境課	山口県内のホテルや飲食店等が食べきりを推	市内協力店数：	1. 20

	拡大		奨する協力店となり、食品ロスに取り組む。	11 店舗	
	３０１０運動の推進	環境課	宴会など食事の席で、開始後３０分と終了前１０分は着座し、食べ残しや飲み残しが出ないようにする食品ロスの取組。	啓発回数：4 回（環境展・広報啓発等）	1. 14. 20
	出前講座など	各課	食に関する正しい知識の普及を図ることにより、食に関心をもち、健全な食生活等を実践する。	健康増進課実施回数：23 回 参加延数：882 人	全て

6　食文化の継承のための活動への支援等（計画書 P63～）

関連重点事項　「持続可能な食を支える食育の推進」

関連する目標指標　１４・２１・２２

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標（p. 40）
p. 63～66	郷土料理教室	健康増進課	魚食推進も含め、地域の郷土料理や伝統料理を取り入れた教室の開催や情報発信を行うことで、家庭や地域等での食文化を継承につなぐ。	【再掲】 実施回数：1 回 参加延人数：17 人	1. 12. 13. 14. 21. 22
	魚を使った料理教室 （ミニしょくいくはかせ教室）	子育て支援課 健康増進課		実施回数：2 回 参加延人数：11 人 参加保護者人数(見学)：13 人	1. 4. 12. 13. 14. 15. 20. 21. 22
	和食の基本や 地産地消料理教室	健康増進課 （ねたろう食育博士）		【再掲】 実施回数：1 回 参加延人数：17 人	1. 4. 5. 6. 12. 13. 14. 15. 20. 21. 22
	給食での行事食や郷土料理の導入	学校給食センター 学校教育課（幼稚園・小学校・中学校） 子育て支援課（保育園）	行事食や郷土料理を給食の献立に取り入れ、食に関する指導に活用する。	行事食：全園実施 郷土料理：18 園実施	1. 4. 5. 6. 12. 13. 20. 21. 22

7　食品の安全性に関する情報提供等（計画書 P67）

関連する目標指標　1

計画書	事業名	担当課 （実施団体）	目的	実績	目標指標 （p. 40）
p. 67	出前講座等	健康増進課	食生活や健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、自らの判断で食を選択し、健全な食生活を実践する。	健康増進課 実施回数：23 回 参加延数：882 人	1